

報恩寺だより

No. 47
平成29年3月17日発行
おたすけ観音 報恩寺
綾瀬市寺尾南2-10-1
電話 0467-78-7160
FAX 0467-79-1567

大般若祈祷会勤修について

5月17日は、おたすけ観音の縁日です。皆様の家内安全、身体健全、諸災消除、諸縁吉祥を祈り、大般若祈祷会を次により行いますので、お誘い合わせのうえ御参詣くださるよう、ご案内申し上げます。

記

期 日 平成29年5月17日(水)

日 程 午後1時 御詠歌
午後2時 大般若祈祷会
午後3時 落語 隅田川馬石師匠
午後4時 小斎

祈祷料(2,000円)は、この報恩寺だよりを郵送した封筒にいれ、
当日御志納お願い致します。

特別御寄進

次の方々から特別御寄進を頂きました。
各位の御芳志に感謝すると共に供養菩提のご冥福をお祈りいたします。

平成28年4月 小山真人様
平成28年4月 笠間功様
平成28年5月 戸井田國輝様
平成28年6月 岡本光代様
平成28年7月 劍持雅彦様
平成28年9月 戸井田伸一様
平成28年9月 橘川泰一様
平成28年10月 早川和雄様
平成29年1月 橘川美津子様
平成29年3月 笠間城治郎様
平成29年3月 笠間博幸様
平成29年3月 武藤美千代様

座禪会

毎月第1日曜日 朝6時より
所要時間約1時間

どなたでも参加できます。
動きやすい服装でおいで下さい。

◆報恩寺年間行事予定◆

4月 8日	釈尊降誕会 花祭り
5月 17日	大般若祈祷会
8月 7日	大施餓鬼会
9月 20日	秋彼岸会法要
12月 8日	成道会
12月 31日	除夜の鐘
平成30年 1月 1日	お年始詣り
2月 15日	涅槃会
3月	春彼岸会法要

◆お墓掃除請け負います◆

墓石、墓誌、花立、水皿、線香皿、草取り等の清掃作業
(その他 要相談)

◎1区画(1.4m²) 4000円から



連絡先 まごの手 代表 西條剛

0467-77-8209 (事務所 綾北電業社内)

お札立て(1600円)



毎年お正月にお配りしております「おたすけ観音」のお札のお札立てを、まごの手さんに作ってもらいました。
一つ一つ手作りの大変手の込んだ仕上がりになっています。



おたすけ観音参り

現在、裏山の整備を進めています。
5月17日の大般若祈祷会の時には
おたすけ観音参り(一部)ができる
予定です。

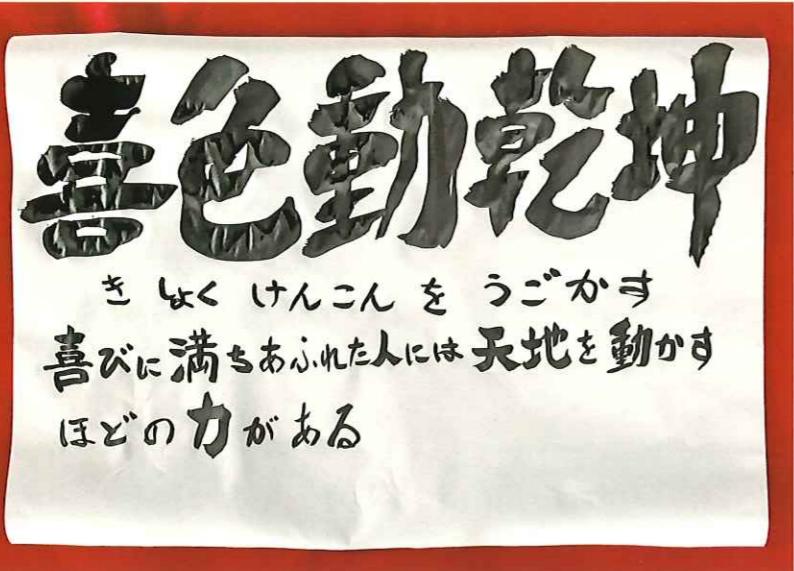
おたすけ観音、報恩寺の船参り

昭和30年代頃までは、先々代住職 加藤洞源和尚の造った洞窟を
木の船で30メートルほど奥まで進み、向こう岸にあがる事が出来ました。
これは報恩寺境内全体をお観音様のお姿に見立て、お観音様の体内巡り
ができるよう洞窟が掘りめぐらされ、その一部が池の洞窟でした。

現在は、入口及び天井部分の土が崩れ入ることはできません。

喜色動乾坤

きしょくけんこんをうごかす



明るくいる

「喜びに満ちあふれた人には天地を動かすほどの力がある」という意味です。誰にでも腹の虫の居所が悪いときがある。そんな人と関わるときにこそ、この「力」を活用してください。喜びがにじみ出てくるような穏やかで明るい態度で接したら、その雰囲気が相手を包み込んで、不機嫌さの源になっている心のしこりを溶かしてしまいます。素直な心の交流がそこに生まれるのであります。

(NHK テキスト 趣味どきっ！ とじ込み付録「禅語手帳」より)

慈悲の心はだれもが持っているものだと思いますが、その慈悲心は育っていくものだということを聞いたことがあります。

慈しみの心、人を思いやる気持ちは、たのしいこと、心弾むこと、つらいこと悲しいことを体験して育てられていくと言う事なのです。

そのように笑顔も育していくものではないのかと思います。体を鍛えるように心も笑顔で鍛える。笑顔で豊かな心を育てる。いつも笑顔を心掛けるようにしています。今、生きていること、命あることが幸せ、喜びだと感じる事が出来れば、いつでも明るく笑顔でいられるのではないかでしょうか。



毎日禅語を youtube で紹介しています。

報恩寺ホームページ「すすめりうりう」で見る事が出来ます。禅語と共に報恩寺の様子を紹介しています。「すすめりうりう」で検索。→右の QR コードからもアクセスできます。



住職の呼び方について

曹洞宗では住職のことを方丈(ほうじょう)と呼びます。これは、一丈(約三メートル)四方(の室)が住職の居る部屋であることから、「方丈の間の和尚」を略して方丈と呼ぶようになりました。

また、前任職のことを東堂(とうどう)と呼びます。東堂とは、寺院の東側に専門の建物があったことから、この様に呼ばれるようになりました。

平成28年5月17日18日19日
梅花流全国奉詠大会(富山市総合体育馆)に参加してきました。



(写真は福山諦法禪師)

お唱えの様子はこちら



旅行の様子はこちら



平成29年2月21日・22日
京都 詩仙堂に研修参拝旅行に行って来ました。

昨年5月に、住職に就任して以来、寺院運営の様々なことに関心が高まり、神奈川県東部嶽山会の研修参拝旅行に参加させていただきました。今回の研修はJR 東海の CM「そうだ京都に行こう」の傑作ともいわれ、曹洞宗寺院である「詩仙堂」だったので、とても楽しみにしていました。

詩仙堂に到着すると、嶽山会一行を待っていたかのように雪が降りだし、まさに身の引締まる思いで拝登諷経を勤め、清々しい緊張感をもって拝観させていただきました。書院から前庭を眺めていると、鹿威しの音が雪の静寂を一層強調するように響き、これぞ石川丈山の真骨頂だという世界を体験しました。

いま、私が興味をもっているのが掃除です。名刹の庭園はそう簡単に真似のできるものではありませんが、掃除の仕方は学べるのではないかと思います。



書院より降雪の前庭を眺める(乗福寺さん)

そのようなわけで、掃除をする立場でお参りしてみました。磨き上げられた床を歩き、掃き清められた庭を観て感じたのは、丁寧に心を込めて行うということだと、掃除というのはその場所をきれいにするだけではなく、心のちりやほこり、雑念をとりはらう行いなのだとということです。掃除をする本人だけではなく、そこに訪れた人にも心の安らぎを与えるのが掃除ではないでしょうか。

研修参拝旅行の様子は
こちら

